

まつやま食育フェスタ 3/25



コ・海藻が主材料となった料理)の販売(食)に関する体験・健康チェック・物産販売、食育推進活動の紹介展示など

【対象】市の食育を推進する団体または個人

【募集数】A 10者 B 20者程度 (応募多数の場合は主催者で決定)

【料金】無料

【締め切り】1月10日(火) (必着)

①②申し込み

各締め切り日までに、直接または郵送、eメールで、所定の応募用紙(市ホームページにあり)を、〒790-0813 萱町六丁目30-5健康づくり推進課(市保健所1階) ⑤ shokukiku@city.matsuyama.ehime.jp へ

※詳しくは市ホームページをご覧ください

お問い合わせは、健康づくり推進課 ☎ 911-1859・FAX 925-02300 へ



2011年の料理販売の様子

市内に住む外国人の皆さんと交流する「地球人まつり in まつやま2012」を開催します。(入場無料)

【日時】1月15日(日)13~17時

【場所】総合コミュニティセンター(湊町七丁目) 企画展示ホール1階

1/15 地球人まつり in まつやま2012

【内容】A まつやまベジグル(野菜・イモ・マメ・キノ)

【内容】遊ぼう! 80分間世界一周! 地球人パスポートを手に世界の国々のブースを巡り、異文化体験

■着てみよう! 世界の民族衣装体験!

■民族衣装の試着体験

■味わおう! 地球人バザー

世界の料理販売やチャリティフリーマーケット

■見よう! 地球人パフォーマンス

世界各国のダンスや音楽演奏

お問い合わせは、まつやま国際交流センター ☎ 943-2025・FAX 931-2041 へ

地域で育つ松山っ子

第16回 味生小学校

児童数 男348人・女339人・計687人 (平成23年12月1日現在)



真剣な顔でクイズに取り組む

私たちがのふるさと味生には、紫式部ゆかりの福水神社や行基が建てたといわれている浄明院など、歴史を語るものが多く残されています。その史跡を1~6年生の10人ほどのグループで巡る縦割り遠足。今年は史跡に加え、地域で生活するさまざまな人々の関わりを通して、さらなる素晴らしさを感じる

味生こどもが「スタンプラリー」

ことができたかと考え、「味生つ子まごころスタンプラリー」を計画しました。

10月6日、快晴。子どもたちは6年生の班長を先頭に元気よくスタート。各史跡のポイントでは、班長や地域の人

の言葉が印象的でした。「いろんなこととして、いろんなことがあって、めっちゃ楽しかった」。味生つ子たちはこの体験を通して、ふるさとの史跡やそこで生きる人々と価値ある出会いをしたことでしょう。



公園で靴とばしに挑戦

【内容】遊ぼう! 80分間世界一周! 地球人パスポートを手に世界の国々のブースを巡り、異文化体験

■着てみよう! 世界の民族衣装体験!

■民族衣装の試着体験

■味わおう! 地球人バザー

世界の料理販売やチャリティフリーマーケット

■見よう! 地球人パフォーマンス

世界各国のダンスや音楽演奏

地域の児童館や保育園もポイントで、中に入って遊ぶこともできます。公園ではPTA企画のお楽しみゲーム。「NPO 松山冒険遊び場みんなだいすき!」もオープン。学校では地域のお年寄りをコーチに、お手玉やこま回しなどの昔遊びに挑戦します。

午後、充実した表情で帰ってきた子どもたち。ある班長の言葉が印象的でした。「いろんなこととして、いろんなことがあって、めっちゃ楽しかった」。味生つ子たちはこの体験を通して、ふるさとの史跡やそこで生きる人々と価値ある出会いをしたことでしょう。

松山っ子の声

水たまりに落としたり探検バッグを、班のみんなが拾って洗ってくれました。うれしかったです。

(1年男子)

保育園の赤ちゃん、お母さん、おじいさん先生、おばあさん先生など、いろいろな人と知り合いました。そして班の仲間との絆も深まりました。とてもよかったです。

(6年女子)

「ぼっちゃん島あわび」は怒和島で養殖されているエゾアワビで、まつやま農林水産物ブランドに認定されているんだ。以前は高級料理店やホテル、旅館などしか味わえなかったんだけど、平成22年に行われた「松山島博覧会」

DISCOVER 魅力を発見 里島

RITOU

段々畑とぼっちゃん島あわびの養殖場

知つとこ! 行つとこ! 里島 ⑥ (怒和島)

中島地域で2番目に大きい島、怒和島を紹介するよ。

しまぼっ

怒和島近海のクダコ瀬戸は、瀬戸内海屈指の漁場で、ピチピチのハマチやタイなど、極上の魚介類が捕れる

所なんだよ。もちろんミカンなどのかんきつ類もあるけど、近年ではタマネギの栽培が盛んに行われているんだ。特に石積みでできたタマネギの段々畑は、僕の一押し風景なんだ。また民俗芸能も伝承されていて、獅子舞は通常より一回り大きい獅子頭と胴を二人で操り、秋祭りに華を添えているんだよ。

ぼっちゃん島あわびオーナー制度

「ぼっちゃん島あわび」は怒和島で養殖されているエゾアワビで、まつやま農林水産物ブランドに認定されているんだ。以前は高級料理店やホテル、旅館などしか味わえなかったんだけど、平成22年に行われた「松山島博覧会」



まはく」を契機に、地元漁師さんがオーナー制度を始めたんだ。怒和島で栽培した昆布やワカメを餌として与えていて、人工飼料や薬品は一切使用していないんだって。天然物と比較しても身が軟らかく、肉厚で、おいしいんだよね。僕のお薦めは、やつぱり豪快に海鮮バーベキューかな。熱々プリプリの「ぼっちゃん島あわび」を口に頬張れば、もう最高に幸せな気分になること間違いなしだよ。みんなもぜひオーナーになってみてね!

さつきも紹介したクダコ瀬戸は、潮の流れが速い漁場で、潮流にもまれ身の引き締まった魚たちを狙って多くの釣り人たちが集まる絶好のポイントなんだ。そこで漁師さんと一緒に貸し切り船で釣り体験ができるんだよ。釣竿などの道具も貸してくれるから、手ぶらで参加できるし、特製のしまめし弁当やお土産も付いているから言うことなしだね。僕も挑戦して、大物を釣り上げてみせるぞ!

クダコ漁師と貸し切り船で手ぶら爆釣体験